総選挙　さぁ、投票へ！

―私たちの声と運動で要求がかなう国会に―

兵庫高教組新聞

発行所
神戸市中央区北長狭通5-2-10
兵庫県高等学校教職員組合
TEL 神戸(341)6745～6747
E-mail
honbu@hyogo-kokuyoso.com
http://www.hyogo-kokyoso.com
発行人　津川知久
編集人　岩崎善行
印刷所　高教組本部

定価　1部　20円
半年分　120円

組合員の購読料は組合費含め徴収

生徒・臨時教職員の未来を思い、政治を語ろう

衆議院の解散必至のもと、臨時国会が始まりました。二代続いて政権投げ出しとなったのは、「大企業・財界とアメリカいいなりの逆立ち政治」に国民がノーを突きつけたからです。

ところが、麻生内閣は反省することなく「靖国派」閣僚が過半数を占めるという陣容でスタート。しかし、中山国交相が早速馬脚をあらわし、わずか５日で辞任するなど右往左往状態です。

来るべき総選挙は、今の政治を根本から変える絶好のチャンスです。職場で地域で学校で、大いに政治を語り合いましょう。

９月25日高校生・若者の就職を保障し、働くルール確立を求める宣伝行動（大丸前）

国民より、財界・アメリカの利益を優先する逆立ち政治をやめさせよう！

安心して平和に暮らしたいという庶民のささやかな願いすらかなわない日本の現実。福祉・医療・年金の切り捨てがどんどんと進みます。麻生総理は、消費税について「２０１５年までに毎年１％ずつ引き上げ10％ぐらいにする」と明言しました。もう真っ暗闇です。

しかし、財界とアメリカ言いなりの政治から脱却すれば、財源はあります。

例えば消費税。今まで国民が支払った消費税は、そのままそっくり大企業の法人税の減税に消え、福祉には使われませんでした。米軍への「思いやり予算」や政党助成金などの無駄をなくせば、社会保障を維持できます。

財界とアメリカに対して毅然とした態度がとれるかどうかが政党選択の試金石です。

青年、臨時教職員を使い捨てにし、貧困を拡大する残酷政治をやめさせよう！

私たちの教え子である青年の実に半分は非正規労働者。年収２００万円以下の「ワーキングプアー」は、１０００万人を越えました。

格差と貧困を広げた張本人は、大企業のボロ儲けを拡大する「構造改革」を進めた与党勢力です。

民主党も「自民党では、構造改革のスピードが遅い」と悪政の競い合いをしてきました。派遣などの非正規労働者激増の契機となった派遣労働の原則自由化には、共産党以外のすべての政党が賛成しました。

兵庫の県立学校には、定数内の常勤講師が、なんと１１００人も働いています。本来正規採用すべきなのに、将来はおろか、来年の見通しも立たない不安定な状態におかれています。

県当局への責任追及と共に、大企業の儲けのために労働者を使い捨てにする政治の転換が必要です。

兵高教組と選挙

特定政党支持は行わない

兵高教組は、「要求で団結」「政党からの独立」「資本からの独立」の３原則を堅持しています。党派選挙で、特定政党を支持することありません。

教職員の政治活動の自由を擁護

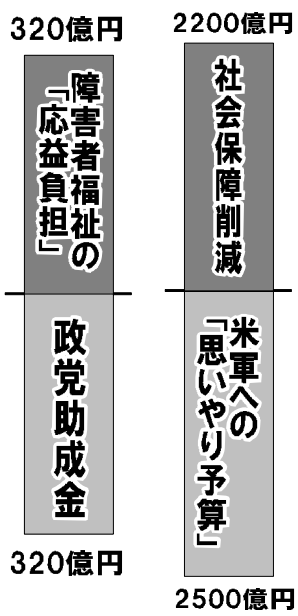
教職員には、地位を利用した選挙活動が禁止される以外には、基本的に政治活動の自由が保障されるべきです。高教組は、民主主義の実現の最低条件である、政治活動の自由を守り発展させます。

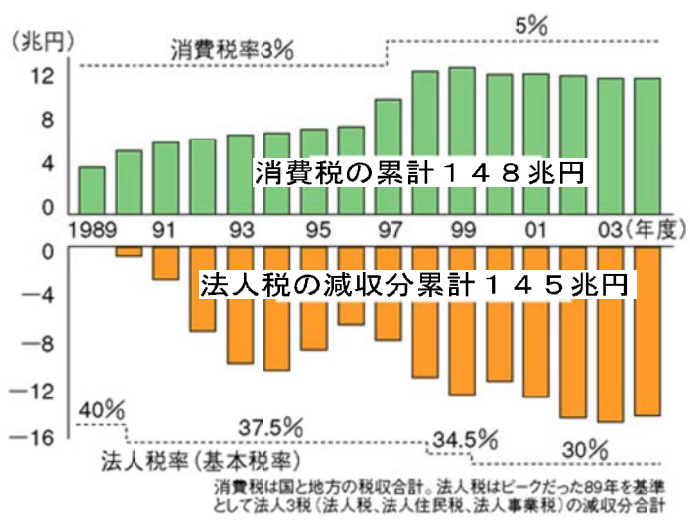
要求実現を全面に掲げて

高教組は、選挙を要求実現の絶好のチャンスと位置づけ、労働組合として選挙闘争に取り組みます。総選挙で前進させたい要求は以下の通りです。

①後期高齢者医療制度廃止。消費税増税を阻止。
②労働者派遣法の労働者保護法への切り替え。働くルール確立。
③改悪教育基本法具体化をストップ。教員免許更新制凍結。
④障害者自立支援法の応益負担を廃止。社会保障予算毎年2200億円削減の中止。
⑤教育予算削減を阻止。少人数学級を実現。
⑥インド洋での多国籍軍への給油活動、自衛隊の海外派兵の中止。
⑦憲法改悪策動ストップ。

「逆立ち政治」を正せば財源はある！





生徒たちの笑顔と教職員の願いが響き合う学校に！

高校生平和集会に参加した高校生（8月5日広島）

「とにかく、毎日忙しく、心身の健康が不安」、「意味があるとは思えない仕事に振り回されて、生徒と向き合う時間がない」、「講師をしているが、来年のことすら分からず、将来が不安」……。

今、私たちの職場には、様々な不安・要求が渦巻いています。しかし、みんながカを合わせれば、変えることができます。その要が、「くみあい」です。

あなたにも兵高教組に入ってほしい！

兵高教組は、この秋 ４つの重点課題に取り組みます

(1)憲法どおりの日本をめざして

様々な問題の根っこには、財界とアメリカ言いなりの政治があります。日本国憲法通りの日本をめざして、総選挙は絶好のチャンス！

(2)「学校が学校でなくなる」危機に保護者・地域とともにたちむかおう。

教職員評価による管理、競争の教育、行革による教育切り捨て……。一番の被害者は生徒たちです。学校を守るためは、保護者・地域との共同を進めます。

(3)臨時教職員の待遇改善・雇用の安定実現

正規職員との均等待遇と雇用の安定をめざします。組合員については、組織を挙げて任用の継続に取り組みます。

(4)要求実現の要・高教組を強く・大きく

今、組合の出番。高教組を大きくして、働くものの団結の力で、要求を前進させます。

こんな学校を作りましょう

① どの子も人として大切にされる学校

学校は生徒のためにあります。生徒たちを、学校の数値目標を達成する「駒」扱いにするような「逆立ち」は許されません。

行き過ぎた競争や、よい子取り競争のための偏差値教育や「特色化」などの、教育を歪める動きに反対します。

できる喜び、わかる楽しさがみんなで実感できる、支え合い励まし合う中でみんなが伸びていく、そんな教室と学校をめざします。

② 教師がのびのびと教育実践できる学校

年々強まる管理と多忙化。教師が黙々とパソコンに向かい、教職員はバラバラ……。そんな学校でよい教育ができるはずがありません。

教職員評価など、教職員の同僚性を破壊する攻撃に反対します。多忙化を解消し、ゆとりを持って生徒と向き合えるよう、30人学級の実現など、教育条件を改善します。

③ 父母・地域の願いに応える学校

よい教育を行うには、教職員が教育の専門家としての力量を高めると共に、父母・地域の願いにしっかりと耳を傾け、意見を交流し、共に学校を作っていくことが大切です。

生徒、父母、教職員が対等の立場で学校づくりについて話し合う三者協議会などの取り組みを進めます。

あなたのために頼りになる組合です

「校長からパワハラを受けています。もう、教師が続けられません」。

「常勤講師をしていますが、明日から来なくていいと、突然管理職から言われました」。　……

高教組には、全県の職場からＳＯＳが届きます。高教組は、職場の分会と、支部・本部が連携して、校長や県教委と交渉して、問題を解決します。

高教組は、あなたの人権の頼りになる守り手です！

ＳＯＳは

兵庫県高等学校教職員組合

〒650-0012　神戸市中央区北長狭通５－２－１０
電話：078-341-6745　FAX：078-351-3185
ホームページ：http://www.hyogo-kokyoso.com
Ｅメール：honbu@hyogo-kokyoso.com